

令和7年11月28日

保護者の皆様

練馬区立北町西小学校
校長 風見 由起夫

令和7年度 全国学力・学習状況調査（6年）結果のお知らせ

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今年度4月に実施しました「令和7年度 全国学力・学習状況調査」の結果についてご報告いたします。
調査の結果から本校の課題となる項目について考察し、今後の学力向上の取組を改善してまいります。

令和7年度 全国学力・学習状況調査（6年対象）

調査問題は学習指導要領に示された国語科・算数科・理科の目標及び内容に基づいて小学校5年生までの内容で作成されています。

【質問紙調査（意識調査）】

生活習慣、学習習慣の他、自己肯定感、地域との関わり、教科外の学習（道徳、総合、学級活動）、ICT活用への興味関心など多岐にわたる項目について調査しました。

○肯定的な回答の割合が東京都平均、全国平均より高かった主な項目

	北西小	全国
・朝食を毎朝食べていますか。	97.6%	95.6%
・将来の夢や希望を持っていますか。	86.6%	83.1%
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	98.7%	96.2%
・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	80.5%	78.1%
・友達関係に満足していますか。	93.9%	91.7%
・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか。	97.6%	93.0%
・新聞を読んでいますか。	18.3%	10.5%
・算数の勉強は好きですか。	63.4%	57.9%

○肯定的な回答の割合が東京都平均、全国平均より低かった主な項目

	北西小	全国
・人が困っているときは、すすんで助けていますか。	87.8%	93.7%
・困りごとや不安があるとき、先生や大人にいつでも相談できますか。	59.7%	70.6%
・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、 自分で学び方を考え、工夫することができていますか。	68.3%	81.7%
・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、 自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	73.2%	80.3%
・5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを活かしながら、 自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	69.5%	77.8%
・国語の勉強は好きですか。	52.5%	58.3%
・理科の勉強は好きですか。	74.4%	80.1%

自己肯定感が高いことは、家庭や地域、学校で周囲から認められ、自己実現の機会が数多くあるということです。家庭、地域のお力添えあってのことです。本校では、児童に対する指導を「…しない。」ではなく、「…しましょう。」のように肯定的な言葉掛けで行うことを徹底しています。今後も継続していきます。

しかし、「困りごとや不安に関して、先生や大人になかなか相談できにくい」という現状も見られましたので、日常の教育活動や学校生活の中で、より子供の心に寄り添う指導や言葉掛けを心掛け、改善を図って参ります。

学習への意欲については、今年度は、例年と比べて低い傾向となりました。1時間、1時間の学習で得られる満足感を積み重ねていく必要があると考えています。何事にも前向きに取り組もうとする北西小の児童のよさを活かし、自らの考えを発信する力、すすんで周囲の人と関わり合う力を高めていくために、今後も、教材研究や指導法改善に向け一層の努力を重ねていきます。特に国語科に関しては、今年度、教員の校内研究を通して指導力の向上を図るとともに、児童の主体的・対話的で深い学びの向上を図って参ります。

【国語】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				北町西小	東京都（公立）	全国（公立）
全体			14	72	70	66.8
学習指導要領 の内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	82.7	77.9	76.9
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	58.0	66.9	63.1
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	85.2	83.8	81.2
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	78.2	69.9	66.3
		B 書くこと	3	74.1	72.4	69.5
		C 読むこと	4	61.4	61.0	57.5
評価の観点		知識・技能	4	77.2	76.6	74.5
		思考・判断・表現	10	70.2	67.1	63.8
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	9	71.2	68.7	64.7
		短答式	3	83.5	80.0	78.5
		記述式	2	59.9	59.3	58.8

全体では全国および東京都の平均を上回る結果となりました。

- ・概ね全国平均以上の結果となっていることから、学習に向かう力(メタ認知)の育成を目指した授業改善の成果が少しずつ表れてきているものと考えられます。
- ・(2) 情報の扱い方に関する事項や記述式の正答率が低い要因として、資料を読み取ったり、指定された条件に沿った文章を書いたりすることができなかったことが挙げられます。日頃より、自分の考えや意見を書いたり、字数制限や条件に沿った文章を書いたりする時間を確保して書く力の定着を目指していきます。また、日常の学習で要点をメモする、学習の振り返りを書く、要約する等、様々な目的や条件で記述することに慣れる活動を低学年の段階から計画的に行っていきます。

【算数】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			北町西小	東京都（公立）	全国（公立）
全体		16	65	64	58.0
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	69.2	68.3	62.3
	B 図形	4	65.6	61.2	56.2
	C 測定	2	63.8	60.5	54.8
	C 変化と関係	3	62.9	64.9	57.5
	D データの活用	5	67.3	67.6	62.6
評価の観点	知識・技能	9	74.3	70.9	65.5
	思考・判断・表現	7	52.7	54.4	48.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	74.6	73.5	67.2
	短答式	6	73.8	69.3	64.0
	記述式	4	36.9	40.7	34.9

全体では全国および東京都の平均を上回る結果となりました。

- ・[知識・技能] は全国および東京都の平均を上回りました。習熟度別指導や複数教員による指導は、分からないところをそのままにせず、基礎基本を着実に習得しようとする児童の意欲にもつながっていると考えられます。東京ベーシックドリルの活用などが既習事項の習熟に効果をあげていると考え、今後も継続していきます。
- ・複数のデータを比較して答えを導き出したり、二つの面積の大小について理由を説明したりする[記述式]の問題に課題がみられました。正解を出すだけでなく、そこに至る考え方を言語化したり式に表したりして説明する力の育成が重要です。算数以外でもさまざまな解決方法がある課題に取り組み、理由や根拠を明らかにして自分の考えを導く活動を積極的に取り入れ、「北西 i グランプリ」等の取組を更に推進していきます。

【理科】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				北町西小	東京都（公立）	全国（公立）
全体			17	60	60	57.1
学習指導要領 の区分・領域	A 区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	50.6	49.9	46.7
		「粒子」を柱とする領域	6	55.8	53.7	51.4
	B 区分	「生命」を柱とする領域	4	52.8	54.1	52.0
		「地球」を柱とする領域	6	71.9	69.1	66.7
評価の観点		知識・技能	8	59.4	57.7	55.3
		思考・判断・表現	9	61.1	61.2	58.7
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	11	59.9	57.9	54.7
		短答式	4	70.6	70.6	69.7
		記述式	2	41.9	46.6	45.2

全体では概ね、全国および東京都の平均をやや上回る結果となりました。

- ・[知識・技能][思考・判断・表現]共に概ね全国平均を上回りました。児童の興味・関心を引き出す指導法の工夫や理由や根拠を基に想像力を膨らませ実験方法を自分たちで考えさせる等の指導法の工夫が効果的だと考えられます。今後も継続していきます。また、基礎基本を着実に習得しようとする児童の意欲にもつながっていると考えられます。
- ・記述式の正答率が低い要因として、資料を読み取ったり、実験の結果予想したり、実験結果から、論理的に思考して結論を導くことに課題があると考えられます。日頃の学習の中で、自分の予想や考察について、自分の言葉で文章化させる学習活動を多く取り入れていきます。